

# 一致団結しアフターコロナへ

あけましておめでとうございます。

2021年はコロナ禍で開け、コロナ禍にくれた年でした。達生堂グループは、2021年12月28日に仕事納めを迎え、2022年1月4日、仕事始めで通常業務に戻りました。

12月28日は、納会のあと、餅つき大会で邪気払いをしました。

仕事始めは1月4日で、年頭訓示が行われました。城西病院の白石裕比湖理事長が「新型コロナウイルスの発生は落ち着きを見せたが、また増加傾向にある。新年、気を引き締めて業務にあたってほしい。そして地域に貢献できる医療を培ってほしい」とあいさつ。藤田善幸病院長は「年末年始は外来、救急とも多く、大変な年になることを予感させられた。コロナと地域医療をバランスよくするには、俊敏に動くことが必要。今年は仕事を効率よく進めるため、電子カルテの導入を具体的に進め、一致団結していきたい」と述べました。

恒例の標語は、鈴木茂統括局長より「何事もできると思えばできる。できないと思えばできない」と発表。今年1年、積極的な活動で地域医療・福祉に当たる心構えを見せました。

2022年1月5日

何事も  
できると思えば  
できる。  
できないと思えば  
できない。

